

## 持続可能社会における既存共同住宅ストックの再生に向けた勉強会 とりまとめ骨子案

### 1. 既存共同住宅ストックの再生に係る現状等

- 共同住宅のストック、フローの状況
- 共同住宅の修繕・改修の現状

### 2. 適時適切な情報提供の必要性

- 再生の必要性に係る区分所有者の気づき
- 管理組合に対する調査診断の情報提供
- 専門家に対する再生技術の情報提供
- 管理組合の意志決定に資する技術・価格の情報提供

### 3. 共同住宅の再生に資する技術の調査分析（勉強会の成果）

- 共同住宅の再生に資する技術について、耐久性・耐用性、環境・省エネ、耐震性、防災性、高齢者対応の5つの分野から、調査診断技術、改修技術を収集
- 5つの分野の要素技術について、調査診断、工事、適用の限界、団地での適用などの観点から整理
- また、住宅のタイプと適用できる技術、複数の技術を同時に組み合わせて適用する可能性について分析
- 技術の調査分析と並行し、ヒアリングなどにより、共同住宅ストック再生の意志決定主体、計画される局面、資金調達の現状など、技術の活用について調査
- 共同住宅の修繕・改修に取り組もうとする所有者や専門家が必要な情報を利用できるよう、共同住宅の修繕・改修に関する技術やその活用方法に関する情報をとりまとめて提供

### 4. 今後取り組むべき課題

- 本勉強会で収集した情報は、その成果として公開するだけでなく、管理組合における意志決定に役立つ情報として、今後とも、技術の動向を踏まえて整理の上、更新し、継続的にわかりやすく開示
- 既存共同住宅ストックの再生に向け解決すべき課題（資金の一層円滑な調達、技術開発等）への取組